

会 議 録

会 議 の 名 称	第3回所沢駅周辺まちづくり連絡協議会																																				
開 催 日 時	平成28年8月4日(木) 14:00~16:00																																				
開 催 場 所	所沢市役所低層棟3階全員協議会室																																				
出席者の氏名	委員 岸井 隆幸 、樋口 清秀 、内田 勉 、 武藤 純一(代理 井花 佳彦)、濱崎 敦 、松本 康一郎 、 羽鳥 貴弘 、大木 敬治 、宮内 秀和(代理 井関 克行)、 藤井 義明 、市川 雅巳 、浅野 直之 、渡辺 渡 、 木村 一男 、鈴木 由紀子 、内野 一郎 、平岩 敏和 、 三上 昌美 、村松 由朗(代理 増田 謙二)、糟谷 守																																				
欠席者の氏名	委員 久保田 尚 、田畑 大介 、根岸 克行 、小川 達男 、 中村 龍太郎 、小山 健次郎 、島田 孝男																																				
説 明 者 の 職・氏名																																					
議 題	(1) まちづくりの方向性と課題解決策																																				
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・所沢駅周辺まちづくり連絡協議会委員名簿 ・第3回資料説明 <p>上記のほか、※印は(株)西武プロパティーズ、住友商事(株)より資料提供あり。 ※所沢駅周辺の街の将来イメージ(株)西武プロパティーズ) ※住友商事の所有・管理施設(住友商事(株)) ※地域関係者との協力体制(住友商事(株))</p>																																				
担 当 部 課 名	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">経営企画部</td> <td style="width: 50%;">次長 粕谷 信由</td> </tr> <tr> <td>経営企画部経営企画課</td> <td>課長 鈴木 哲也</td> </tr> <tr> <td>産業経済部</td> <td>次長 増田 謙二</td> </tr> <tr> <td>産業経済部商業観光課</td> <td>課長 柳田 晃芳</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主査 川瀬 孝子</td> </tr> <tr> <td>市民部地域づくり推進課</td> <td>課長 千葉 裕之</td> </tr> <tr> <td>街づくり計画部</td> <td>次長 秋田 博庸</td> </tr> <tr> <td>街づくり計画部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>所沢駅西口区画整理担当参事</td> <td>森田 正雄</td> </tr> <tr> <td>街づくり計画部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>所沢駅西口区画整理事務所</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>所長 工藤 順一</td> </tr> <tr> <td></td> <td>副主幹 河口 裕孝</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主査 宮崎 智弘、荻原 信宏</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主事 大平 静</td> </tr> <tr> <td>市街地整備課</td> <td>課長 遠藤 弘樹</td> </tr> <tr> <td></td> <td>副主幹 鎌田 実幸</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主査 小川 桂子</td> </tr> </table>	経営企画部	次長 粕谷 信由	経営企画部経営企画課	課長 鈴木 哲也	産業経済部	次長 増田 謙二	産業経済部商業観光課	課長 柳田 晃芳		主査 川瀬 孝子	市民部地域づくり推進課	課長 千葉 裕之	街づくり計画部	次長 秋田 博庸	街づくり計画部		所沢駅西口区画整理担当参事	森田 正雄	街づくり計画部		所沢駅西口区画整理事務所			所長 工藤 順一		副主幹 河口 裕孝		主査 宮崎 智弘、荻原 信宏		主事 大平 静	市街地整備課	課長 遠藤 弘樹		副主幹 鎌田 実幸		主査 小川 桂子
経営企画部	次長 粕谷 信由																																				
経営企画部経営企画課	課長 鈴木 哲也																																				
産業経済部	次長 増田 謙二																																				
産業経済部商業観光課	課長 柳田 晃芳																																				
	主査 川瀬 孝子																																				
市民部地域づくり推進課	課長 千葉 裕之																																				
街づくり計画部	次長 秋田 博庸																																				
街づくり計画部																																					
所沢駅西口区画整理担当参事	森田 正雄																																				
街づくり計画部																																					
所沢駅西口区画整理事務所																																					
	所長 工藤 順一																																				
	副主幹 河口 裕孝																																				
	主査 宮崎 智弘、荻原 信宏																																				
	主事 大平 静																																				
市街地整備課	課長 遠藤 弘樹																																				
	副主幹 鎌田 実幸																																				
	主査 小川 桂子																																				

	主任 山田 剛 技師 柴田 昌孝 市街地整備課 電話 2998-9208
発 言 者	内 容
1. 開 会 2. 挨 拶 3. 委員紹介（代理及び欠席） 4. その他	司会より 岸井会長より 司会より 傍聴者の有無、会議公開の報告、市民部地域づくり推進課職員の出席を説明（前回会議にて委員から要望あり） 司会より
5. 議 事	議題（1）まちづくりの方向性と課題解決策
事 務 局	配布資料を基に、「所沢市の商業動向」「所沢市の幹線道路網」「歩行者実態調査報告」「歩行者インタビュー調査報告」「所沢駅周辺のまちづくりの方向性と課題解決策」について説明を行う。
委 員	（株）西武プロパティーズ、住友商事（株）の資料について、各委員より説明を行う。
会 長	説明の要点は、所沢は立川、吉祥寺、川越といった既存の大型商業施設の間に位置していること、商業施設も郊外店はあるが5キロメートル圏内にはないことなどから、地域の中心性を持てるのではないかということであった。 また、電車を利用すれば30分程度でいろいろなエリアに行けること、周りには大学が多いこと、観光客も多いことがあるが、それらを上手く使いこなせていない状況のため、この地域の拠点性を所沢にもう一度取り戻すことが大事であると説明がされた。 さらに、歩行者交通量調査の説明では、プロペ通りが1日当たり3万～4万人程度の歩行者がいるが、新規商業施設により駅からの集客が5万人程度増加する予測となるので、それをどのように受け止めるかが課題である。東町再開発もあるため、プロペ通りはさらに歩行者が1～2割は増えると予測されている。所沢全体の拠点性を強める意味で、東口・西口・プロペ通りを含めてどのような空間整理をするかが課題であるとの説明であった。 については、委員から意見を願いたい。
委 員	経営企画部長（委員）、産業経済部長（委員）は、西口街づくりについて、プロペの商店街、商栄会、ファルマン通り等に対して、どのような考えを持っているかお尋ねしたい。
委 員 （経営企画部長）	第5次所沢市総合計画・後期基本計画に位置付ける「所沢ブランドの推進とまちの活性化」として、所沢駅周辺の街づくりが進むと所沢市の魅力が高まり、賑わいが創出されると考えられることから所沢のブランドとして集客に繋げていきたい。また、都市ブランドの他にも、個別ブランドとの連携を図りながら、所沢市を盛り上げていきたい。

委員 (産業経済部長代理)	<p>東口を始め、西口の再開発事業と区画整理事業によって、訪れる多くの方々で、地元の商店街や駅周辺が賑わいのある、元気で魅力的な街になるというイメージを持っている。その影響が、銀座商店街から中心市街地、さらには市域全体で享受していくイメージを持っている。</p> <p>そのためにも、今後具体的な事例が示された中で、地元商店街を始め、関係団体・関係者の方々から御意見を伺っていきたい。</p> <p>さらに、駅周辺が所沢の顔として魅力的になれば、企業にも所沢に来て頂いて、活力に溢れた街になるというイメージを持っている。これまでに以上にアンテナを高くして、企業誘致のための営業活動を推し進めたい。</p> <p>また、観光資源、多くのおいしい農産物及び世界に誇れるブランド等の魅力的なものが沢山ある。駅周辺から情報発信をして、多くの方々に触れて頂き、食して頂き、お土産として持ち帰って頂けるよう、賑わいのある街をイメージしているため、地元商店街、関係団体・関係者、西武鉄道との連携を密にして取り組んでいきたい。</p>
委員	所沢ブランドとはなにか。
委員 (経営企画部長)	<p>都心へのアクセスが良い、災害が少ない安全な街、航空発祥の地である等の「都市ブランド」と、地元の農産物、プロスポーツ、手打ちうどんや焼きだんご等の「個別ブランド」があり、総括して所沢ブランドである。</p>
会長	この地域では、どのようなことをブランドにするとと言えるか。
委員 (経営企画部長)	どのようなものがこの地域のブランドになるか、この協議会でもご意見を頂きたい。
会長	他に意見はありますか。
委員	<p>市域の道路網が示されたが、もう少し所沢全体の渋滞解消の対策をして欲しい。所沢はせっかく良い場所にあるのに、周りから人が来ない。</p> <p>また、「所沢横町」をどこかに造って頂ければ、ブランドはこれから我々が考えればよい。</p>
会長	道路を、合理的に計画して欲しいという意見でした。他に意見はありますか。
委員	<p>所沢駅前の清掃を毎日やっており、その中で1日100個の携帯灰皿を配布している。理由は、所沢駅を降りて所沢がきれいであると印象を与えたいためである。プロペ通りが最近ゴミ箱をなくしたので、駅前にあるゴミ箱にその分量が集まり、毎日90Lを3枚分処理している。</p> <p>また、プロペ通りは昔から親しんでいる店舗がなくなってきた。自治会では、プロペ通りは客引きと飲み屋が多いため、夜は子供を通らせない</p>

		<p>ようにしている。渋滞の問題以前に、この地区の状況のことを考えて欲しい。</p> <p>消費者として、お金を持っていても所沢以外に行かないと欲しいものがないのが女性の目線である。購買意欲が低下しているので、小売店を増やして、地元で消費して商売を支えたい。</p>
会 委 員	長	他に意見はありますか。
	員	<p>ショッピングモールが近くにないからという理由で、商業施設を造らない方が良い。家族でイオンモール、ららぽーとに行くことがあるが、特別なものがあるわけではなく、なんとなく行く状況であり、それと同じではつまらない。何か特色付けをして、街として恵比寿や吉祥寺のように住みたい街ランキングに入るようなブランドを獲得できるように考えたい。</p> <p>西武ドームでイベントがあつて人が多く来ても、所沢駅に寄って買い物や飲食をして帰るわけではない。勝手に連携して賑わうのは間違えて、どうやって確実に連携させるかのコーディネートを考えないと意味がない。例えば、プロペ通りに小道があつて、新たにお店を造るのであれば雑誌に取り上げられて是非所沢に行ってみたいと思わせるようなものを意識的に造るなどすれば、価値が出るのではないか。最終的には、住んで良し、遊んで良し、買い物して良し、学んで良し、雰囲気も良しの街を目指したい。</p>
会 委 員	長	他に意見はありますか。
	員	<p>西口と東口の商業施設を造れば人で賑わっていくと思うが、点でなく面で考えると道路網が大事である。駅西口から駅東口に人が流れるのか、イオンに行くにしても狭い道をどのように行くのか課題である。</p> <p>東町の住居地域に大勢の方々に住んで頂ければお客さんになるので、居住地域の街づくりを市で考えて欲しい。</p>
会 事 務 局	長	地域を結ぶ交通の話でしたので、交通計画が専門の久保田委員の意見を紹介します。
	局	<p>所沢駅周辺で進められている複数の開発事業に伴い、駅周辺は歩行者通行量に対応しきれない結果となっており、何らかの対応を検討する必要がある。現状の駅、駅前ロータリー、交差点、県道久米所沢線の位置関係及び今後の駅周辺の商業開発を想定した場合には、歩行者と自転車を上手く住み分けた歩行者ネットワークを構築する必要がある。</p> <p>これにより地域住民の通行を始め、来街者の増加に対応した安心安全な交通環境となり、市が掲げる所沢駅周辺のにぎわいの創出、商業の活性化につながるものと考えている。なお、ネットワークの構築にあたっては、北側の街並みの回遊性も併せて考える必要がある。【委員意見紹介】</p>
会 委 員	長	歩行者空間の充実を図らなければならないという意見でした。他に意見はありますか。
	員	<p>プロペ通りは段差があるためフラットにするなど、身近なところを整理して欲しい。西口北街区では魅力ある施設を造って、所沢駅の乗り換え客を駅から出すことに協力したい。北街区に800㎡の空き地があるので、災害時等の危機管理の面でも活用して欲しい。</p>

会 委 員	長 員	<p>プロペ通りの委員は意見ありますか。</p> <p>プロペ通りは6月で役員が変わり、新しい役員でどういうビジョンでやっていくか話し合っている。女性にどうやって来て頂き、昔のように活気と賑わいのある商店街ができるのか、市からの助成金も活用しながら考えをまとめている。段差の問題は、消費者目線で道路を直していくことも必要だろうと考える。客引きの問題は、消費者からプロペ通りを通りたくないとの意見もあり、他市では条例を設けて客引きが出来ないようにした事例もあるため、安心安全のために条例化できないか検討している。また、テナントが増えて商店街の個性がなくなっているため、個々の店舗でどのような魅力が出せるのか、その集合体の商店街として市民や市外の方から目を向けて頂けるように、是非とも、皆様と連携をして取り組んでいきたい。</p>
会 委 員	長 員	<p>若い学生もいるので、いろいろ連携してはどうか。</p> <p>プロペ通りのゴミ箱撤去の件は、地域の方の行動を前の役員が掴んでいなかったようなので、新しい役員に考えて頂きたい。道路は、特殊舗装をやったことで、以前に比べればお年寄りも子どもも歩きやすくなった。昔のビルは、段差がある感覚を持つことが少なくないことは、承知している。</p> <p>また、西武は地域の連携や地域社会への協力を頂けるとのことだが、西口のイルミネーションに協力しないのは如何なものか。費用が1千万円程度かかり、市からも補助を受けてやっているため、是非協力をお願いしたい。</p>
会 委 員	長 員	<p>皆さんが普段思っていることをこの場で発言し、連携して頂きたい。</p> <p>所沢駅の駅舎を改修する際、駅中に所沢の特産物やお土産の販売所を設けるよう要望していたが、そのままである。今後、駅舎を活用して所沢のアピールをできるよう検討して頂きたい。</p>
会 委 員	長 員	<p>所沢ブランドを如何にして所沢駅に設けられるかということですね。他に意見はありますか。</p> <p>本日の説明で、現状の把握ができたところだが、これから活性化するためのロードマップがないのではないかと。本連絡協議会で作るのか、又は、次回の協議会で提示して頂けるのかを確認したい。</p>
会 事 務 局	長 局	<p>これからの進め方を、市から説明願います。</p> <p>現状で、ロードマップはございません。この場で委員の皆様方の意見を頂きながら、築いていければよいと考えている。</p>

会	長	次回までにスケジュール感を持った大枠がわかるものを用意して下さい。内容としては商業系と交通系の2つのテーマがあり、少人数で話をしていかないとまとまらない。2020年までの事業や、それに必要なやるべきことを整理していきましょう。
委	員	資料にある全てのテーマの議論は無理である。例えば、イオン前の都市計画道路の整備は現実的でないので、実現性のあるものを取り上げて頂きたい。実現性のないものは、あえて考えさせないで頂きたい。
会	長	誰がやるのか主体をはっきりさせ、具体的に活動をできるものにしましょう。個別のテーマは、費用の面もあるので、部会レベルで議論しなければまとまらない。本日は、現状の共有ができたので、これからの方向性を、今後、市から素案を提示してください。
委	員	町内会では、防犯灯や街路灯の維持管理をしているが、プロペ通りに自治会加入の勧誘に行っても、10件中1件が話を聞いてくれるかどうかといった程度であるため、どの程度、自治会とお付き合いをしてくれる企業やテナントがいるのかと思っている。今回のような大きな事業であれば、最初から自治会に加入するのが条件であるとか、自治会とお付き合いをするようにして頂きたい。何かあったとき、例えば災害があったときに町内会館を使うことにもなるので、もう少し自治会を大事にして事業をして頂きたい。もともと住んでいる人を大事にしなければ街づくりはできない。これから先、自治会の維持をしていけるかどうかを根本にあり、このような話にうまくついていけないのが実情である。
副	会 長	商店街の振興政策について、台東区役所から6年間研究資金を貰って全国の商店街の活性化を研究したところ、静岡駅前の呉服町商店街は1店舗当たりの売上げが高く、かつて2つの百貨店があったときにも負けていなかった。 特徴は3つあり、1つ目は商店街が規律を守らせている。例えば、同じ企画の看板で統一すること、歩道へはみ出すことを禁止したことである。 2つ目は、東海道五十三次の宿場であったため、歩車道間にポールを設置し、そこに江戸時代のレリーフを作ったため、遊びながら商店街を歩くことができる。 3つ目は、自転車を絶対に入れてない。これは、恵比寿、吉祥寺や銀座も同じである。 また、武蔵小山商店街は、次から次に魅力ある店舗があり、自転車に乗っている場合ではない。惣菜店だけでも直線で10店舗以上あり、自転車を降りた方が楽しい。自転車をどこかに停めて歩くようにするなどルールを決めるとよい。 都心では歩きたばこに対する罰金の条例があるくらいなので、是非歩行者に協力して頂いたほうがよい。 アメ横では、全員自治会に入るようお願いしているし、足並みそろえたルールで個々に努力しているため、街はきれいである。かつては車と人の共生という文章があったが、現在は人と車と自転車をどのように共生させるかが大事である。

<p>会 長</p>	<p>中国の昆明^{こんめい}では、電気自動車のため空気がきれいである。安全に運転できるように交通ルールを守らせるようにしているので、歩行者の間を自転車で飛ばすこともない。交通ルールを守る意味でも、所沢ならではの新しいまちづくりとして、困っていることは何かを考え、自転車ルールを考えて頂きたい。</p> <p>所沢ブランドとしては、航空発祥の地であることを活かすことがよいのではないかと思う。</p> <p>所沢ルールが必要ではないか、資源をもう一度見直せないかという話でした。</p> <p>本日は商業の話が多かったですが、鉄道の利便性の高い所沢の魅力を高めるように皆様に力を合わせていきましょう。次回は大きなロードマップを作り、部会で具体的に考えていきましょう。</p>
<p>6. その他 7. 閉 会</p>	<p>事務局より、次回の連絡協議会は別途調整する旨説明。 副会長より閉会のあいさつ、司会より閉会（終了）。 (以上)</p>